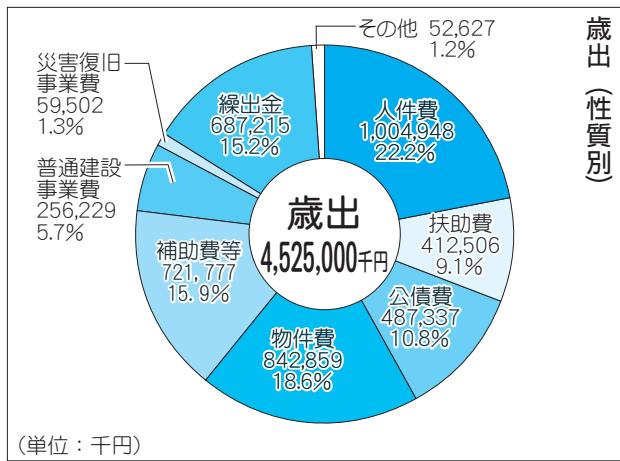
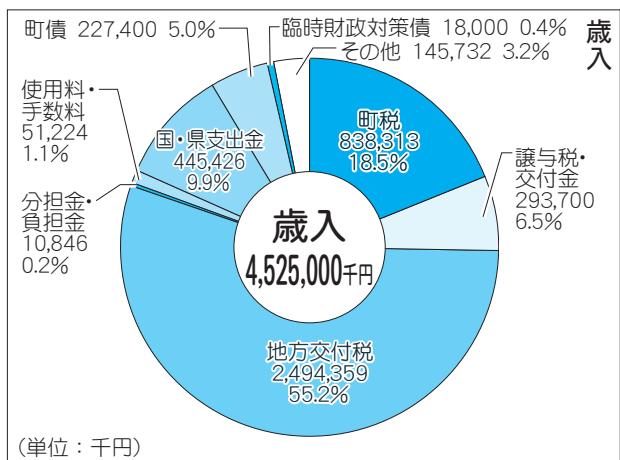


令和5年度 一般会計当初予算

45億2千5百万円

～政策的経費を抑制した「骨格予算」～



令和5年度一般会計予算が3月町議会で可決されました。一般会計予算是45億2千5百万円で、対前年度1億2千万円（2・6%）減となりました。これは町長選挙が4月に執行されるため、政策的経費を極力抑えた「骨格予算」として編成されているためです。保健・医療・福祉事業や継続して進めている安心して暮らせるまちづくりの推進のため、地域防災・災害対策の強

化や橋梁補修工事等に取り組みます。また、子育て支援医療費助成金・子育て応援給付金・消防団員の待遇改善・分庁舎駐車場整備事業に重点配分した予算となっています。新町長就任後に政策的経費が肉付けされ、6月議会に本予算として提案されることになります。合わせて、毎年お知らせしてあります予算詳解は、6月の本予算議決後作成いたします。

町の財政状況で、真っ先に注目されるのが「町債」（借金）です。今年度

特別会計別 予算額一覧表 (単位:千円)

会計名	予算額
簡易水道事業特別会計	420,660
指定居宅サービス特別会計	77,229
国民健康保険特別会計（事業勘定）	977,680
国民健康保険特別会計（直営南部診療施設勘定）	108,737
国民健康保険特別会計（直営万沢診療施設勘定）	55,698
介護保険特別会計	1,140,514
後期高齢者医療特別会計	231,958
陸合財産区特別会計	404
富沢財産区特別会計	1,553
大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計	271
大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計	152

【主な事業】

- 1 橋梁耐震補修事業 86,450千円（橋梁耐震補修設計委託・工事）
- 2 消防団活動事業 36,061千円（団員報酬の引き上げ、各部運営費補助等）
- 3 公共施設整備事業 7,429千円（分庁舎駐車場整備設計委託）
- 4 円母子保健事業 19,800千円（子育て支援医療費助成事業、子育て応援給付金）
- 5 円（新規）移住・定住化事業 9,927千円（空き家バンク利用促進事業等）
- 6 特別会計は、特定の事業を行うための予算で、保険料や使用料、繰入金などの収入を主として、一般会計と区分して経理する会計です。特別会計の予算額は、3,014,856千円です。

【将来負担比率】は、町債残高やこれから負担していくなければならないものから基金など補填できるものを差し引いて将来的に財政を圧迫する可能性の高低を示す指標です。南部町の数値は該当がなく、充当可能財源等が将来負担額を上回っています。町の保有する基金（令和4年度末見込み）は、財政調整基金2,299,049千円、減債基金735,241千円、その他特定目的基金4,657,600千円です。以上のように、本町は健全な財政運営が行われていますが、歳入における交付額の減少は財政に大きな影響を及ぼすため、今後も公共施設の適正管理や行政改革による財政健全化に取り組む必要があります。

の一般会計の借入額（歳入）は、245,400千円、返済額（歳出）は487,337千円（うち元金分は47,358千円）となっており、借入額が返済額を下回っているため、町債残高は減少する見込みです。令和4年度末残高見込みは、3,541,488千円です。

【実質公債費比率】は、一般会計の町債ばかりでなく、特別会計や一部事務組合の公債費に対しても負担しなければならない経費も加算して実質的な公債費を算出して指標化したもので、南部町の令和3年度決算における比率は1・8%で、前年度決算時から0・4ポイント減少しています。公債費比率が18%を超えると町債発行に県の許可を得なければならず、25%以上は借入を制限されます。県内市町村平均は7%。